

平成 24 年 3 月 30 日

日野市
情報セキュリティ統括責任者
小川 孝 様

株式会社 JMC リスクソリューションズ



情報セキュリティ外部監査結果報告書

平成23年度日野市情報セキュリティ外部監査（以下「本監査」という。）報告書は、本監査を実施した結果について報告するものです。

弊社は、平成 24 年 2 月 15 日（水）から平成 24 年 2 月 17 日（金）の期間に、「環境共生部緑と清流課」、「企画部地域協働課」、「まちづくり部都市計画課」及び「健康福祉部セーフティネットコールセンター」の 4 所属に対して、「JIS Q 27001:2006」、「日野市情報セキュリティ対策基準」及び「地方公共団体における情報セキュリティ監査に関するガイドライン（総務省）」を基に策定された「日野市情報セキュリティ管理基準」に照らして本監査を実施しました。

実施にあたっては、情報セキュリティポリシーの遵守状況及び有効性について、関係者に対するヒアリング、規程や記録のレビュー及び現場での目視によって確かめました。

また、「まちづくり部道路課」、「教育部庶務課」及び「総務部財産管理課」の 3 所属に対しては昨年度の検出事項の改善状況を、「総務部情報システム課」に対しては昨年度の監査結果から全庁的な課題として提案された内容に対する改善状況を、それぞれ確かめました。

その結果を下記のとおりご報告します。

記

本監査の結果、監査対象となった所属では情報セキュリティ対策について日ごろから意識するだけでなく、概ね実施していることが確認されました。特に情報セキュリティ対策本部の取り組みは、情報システム課を中心に過去の全庁的な課題に対して、様式の見直しや全庁的な改善への取り組みが実施され、市全体として情報セキュリティ対策への取り組みが有効に機能しており、高く評価できます。

一方、情報セキュリティ対策上の改善が必要な検出事項が一部で確認されました。これらの検出事項については早急に必要な対策を検討し、実施することが望まれます。

検出事項は、おおきく 2 つの傾向がありました。

はじめに、情報システムの運用状況の把握に関する検出がありました。情報システムの

安定稼働を維持するため、システム障害時に大きな問題に発展させないためにも、今以上に情報システムの現状を把握した管理が望まれます。また、今後把握した内容は、運用方針として作成されている情報システムの実施手順書と乖離がないことを確認することによって、今後の情報システムの安定稼働を維持することにつながると考えます。

つぎに、情報セキュリティ対策の実施に関する記録が不十分である検出がありました。情報セキュリティ対策の実施に関する記録は、実施した証だけでなく、関係者の意識付けや問題が発生した時の原因究明に有効な資料になります。そのため、徹底した記録の取得が望まれます。

最後にフォローアップ監査では、すべての指摘事項に対して改善が実施されており、昨年度の監査で確認された問題点が放置されている事象は存在しませんでした。このことから、来年度に残る課題はないと判断しました。

以上